

宮城県ケアマネジャー協会塩釜（二市三町）支部【第4回定例会】

【開催】平成31年2月21日（木）18:30～20:00

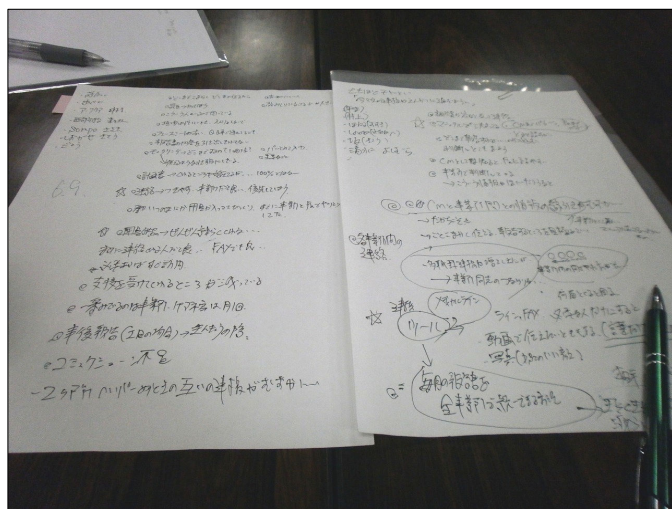
【場所】多賀城市文化センター展示室

【内容】介護支援専門員とサービス事業者によるグループワーク

今後の連携がさらに円滑に進められるよう、顔の見える関係性を築けるよう、お互いの疑問について、ワールドカフェ形式で開催



サービス事業者と介護支援専門員の意見交換



前回に引き続き、ワールドカフェ形式でグループワーク研修を開催しました。連携が円滑に進められるようにどうすればよいか、日頃難しく感じていることについて話し合いました。事業所側からはどこまで細かくケアマネに伝えれば良いのか躊躇してしまう。毎月の実施報告書も、どこまで記載するか、ケアマネジャーが知りたいような内容を考えて工夫している。事業所によっては報告マニュアルがあり、ケアマネジャーまで伝えるべきもの、家族までに伝えるものなどがあり、線引きが難しいのでどこまで報告すればいいのか判断がとても迷うことがある。ケアマネ側からは、連絡が付きやすい事業者だといいが、なかなか連絡のつかないところへは躊躇してしまいやすい。一番利用者を見ているのはサービス提供事業所でケアマネジャーはモニタリングの際に合う程度。いただく報告書は毎回確認し、訪問時に活用できているという意見等もありました。第2部では、今後の連携を円滑に進めるようになるにはどうすれば良いかというテーマで話し合いました。ケアマネと事業所間との情報の線引きが難しいというが、マニュアルはあっていないようなものかもしれない。多職種連携が増えてきたが、サービス事業所間同士の横のつながりの場がないのが現状。電話で報告することが多いが、言葉だけで伝えたいことを相手に伝えるということは難しいこともある。ツールの活用、メール、FAX、動画写真など、毎月の実施報告書を全事業所で共有できる方法があれば良いのではないかと、書類業務が多くて連携に回す時間が取れない現状もあるのではないかと。等々の意見交換がありました。今回の定例会ではケアマネと事業所間とのそれぞれの立場と考えを交換することができました。この地域に足りないことは何なのか、そして今後どうしていけばいいのかヒントを得る定例会となりました。

ご参加の皆様
ありがとうございました。